

事業評価シート（平成23年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	テクノフェア推進事業		
事業担当	経済部 産業振興課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'04	基本目標4 活力とにぎわいに満ちたまち	
	'01	①〈持続可能〉産業の発展を持続させる	
	'03	3 世界の市場を視野に入れて、産業間の交流や産学公の連携を進める	
根拠法令等	湘南ひらつかテクノフェア推進事業補助金交付要綱		
対象・受益者	市内企業、大学	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他 】 【協働： 平塚商工会議所 】		
目的・目標		事業の概要	
企業間の連携・取引の促進、企業と大学などとの技術交流が行われ、工業の活性化が図られています。		工業の活性化のため、企業などが製造した製品を展示し、PRするとともに交流を推進します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	テクノフェア出展企業・団体数			単位	団体
	説明・算定式	テクノフェアへの出展企業・団体数				
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標	100	110	120	120	
	実績	106	119	127		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	商談件数			単位	件
	説明・算定式	テクノフェア開催中の商談件数(平成22年度から)				
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		460	580	590	
	実績		577	605		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成23年度の主な取組と成果						
前年を上回る127の企業・団体の参加により湘南ひらつかテクノフェアを3日間開催し、販路の拡大や企業間等の交流を図りました。						
平成23年度の検証結果	A：成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	企業などが製造した製品を展示し、PRするとともに産学公の交流を図るためテクノフェアを実施することは、産業の活性化のために必要です。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	継続することにより産業間の交流、産学公の連携がさらに拡大されるなど有効性が高い事業です。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	企業間の連携・取引の促進、企業と大学等などの技術交流が行われ産業の活性化が図られるため、補助額を含め、妥当性は高い事業です。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	平塚商工会議所が主管となり実施しており、新たな地域や地域資源との連携、協働を促進し、効率的運営の検討が必要です。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析		企業間の連携・取引の促進、企業と大学等などの技術交流や情報交換が行われるよう開催内容の充実を図る必要があります。		

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成21年度 決算額	平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 予算額
事業内容		テクノフェアの開催	テクノフェアの開催	テクノフェアの開催	テクノフェアの開催
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	2,800	2,800	2,800	2,800
事業費 (A)		2,800	2,800	2,800	2,800
執行率 (%)		100.00	100.00	100.00	
内訳	職員 (人)	0.30	0.40	0.40	0.40
	再任用 (人)	0.50	0.50	0.50	0.45
人件費 (B)		4,232	5,009	4,923	4,738
フルコスト (A+B)		7,032	7,809	7,723	7,538

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成25年度の取組方針	平塚商工会議所と協働し、内容の充実を図りながら推進していきます。
課長コメント	企業間及び大学等との技術や情報の交流を促進し、地域の有用な資源や潜在能力など新たな可能性を発掘することで産学公の連携強化と地域産業の活性化を図ることを目的に「テクノフェア」が開催されています。テクノフェア実行委員会に助成を行うことで、事業が円滑に行われているので、この事業は継続していきます。